

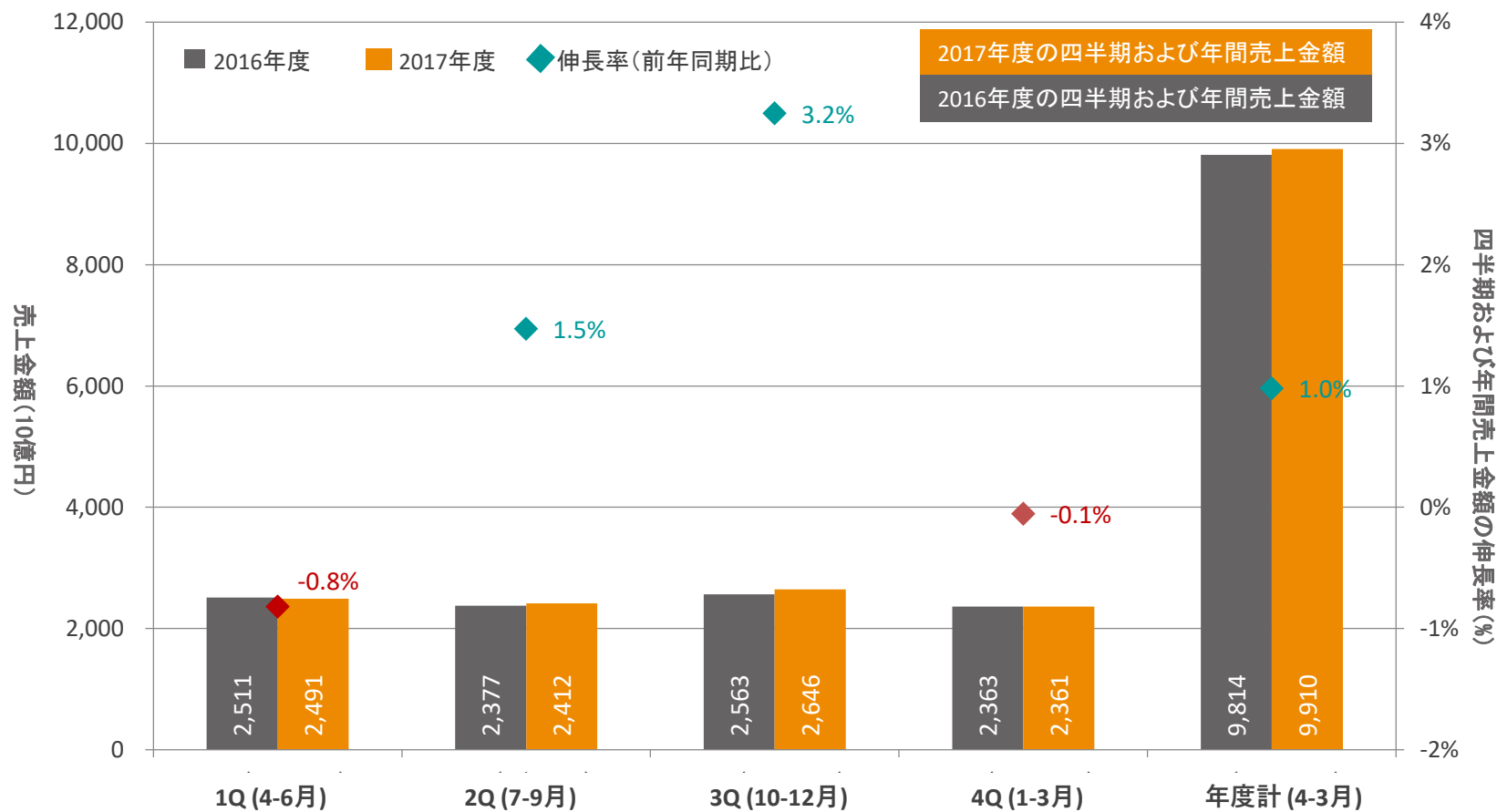


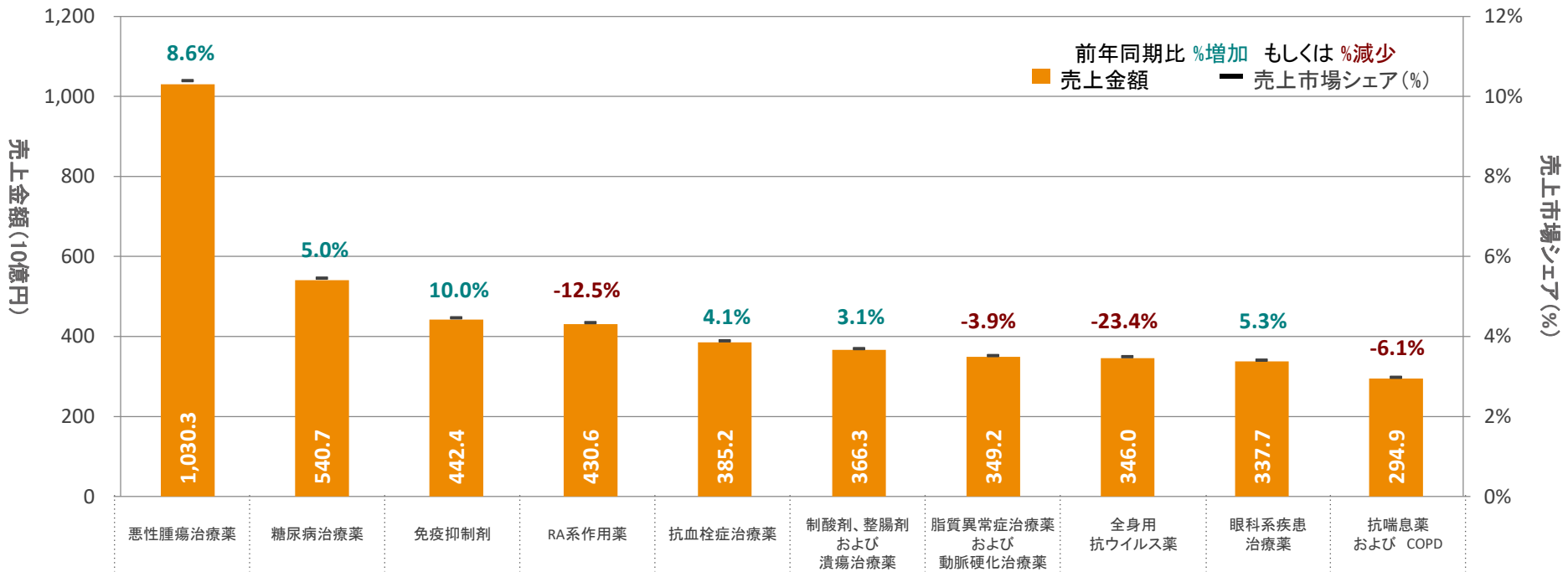
エンサイス スナップショットデータ

(薬価基準ベース)

2017年度
(2017年4月 ~ 2018年3月)

本レポートは、当社が収集した医療用医薬品に関する情報を基礎としてエンサイスリサーチセンターで加工、編集又は推計を行ったものであり、
当社は本情報の正確性、網羅性、その他本レポートが一定の内容や品質を備えることを保証するものではありません。

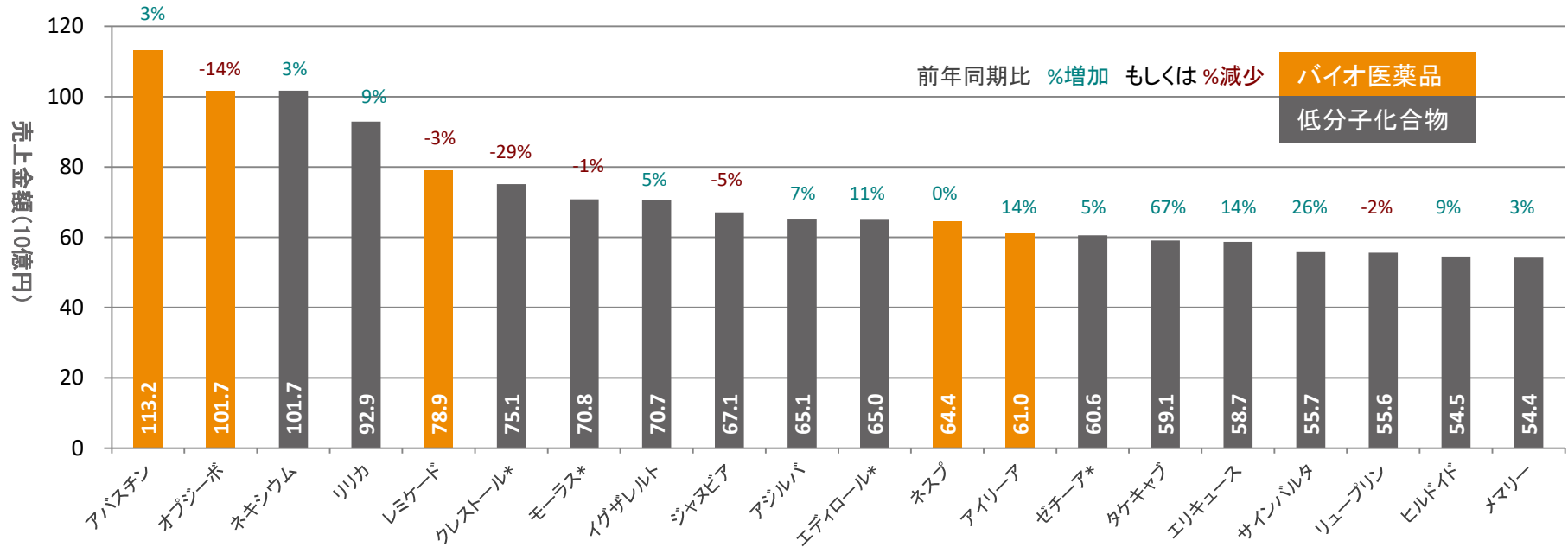




- 上位10薬効分類の年間売上金額は4兆5,234億円（前年同期比約0.2%減）であり、医療用医薬品市場全体の約45.6%を占めている。
- **悪性腫瘍治療薬（オンコロジー）**：キイトルーダ（ペムプロリズマブ、MSD 2017年2月販売開始 年間売上金額452億円）、タグリッソ（オシメルチニブ、アストラゼネカ 年間売上金額294億円）、サイラムザ（ラムシルマブ、イーライリリー 年間売上金額463億円）の新薬群は、前年同期に悪性腫瘍治療薬分野の主力製品であったオプジーボ（年間売上金額1,017億円、前年同期比13.5%減）の売上減少分を補い、当該市場の伸長に貢献している。
- **抗ウイルス薬**：ハーボニー（年間売上金額457億円、前年同期比72%減）、ソバルディ（年間売上金額345億円、前年同期比51%減）、ヴィキラックス（年間売上金額119億円、前年同期比62%減）により、当該市場の年間売り上げ金額は前年同期比23.4%と大幅に減少に転じた。
- **免疫抑制剤**：ヒュミラ（年間売上金額573億円、前年同期比14%増）、レブラミド（年間売上金額475億円、前年同期比26%増）、シンポニー（年間売上金額393億円、前年同期比28%増）の売上金額増加に伴い、当該市場の年間売り上げ金額は前年同期比10%伸長となっている。

医療用医薬品市場年間売上 上位20製品

データ期間：2017年4月～2018年3月



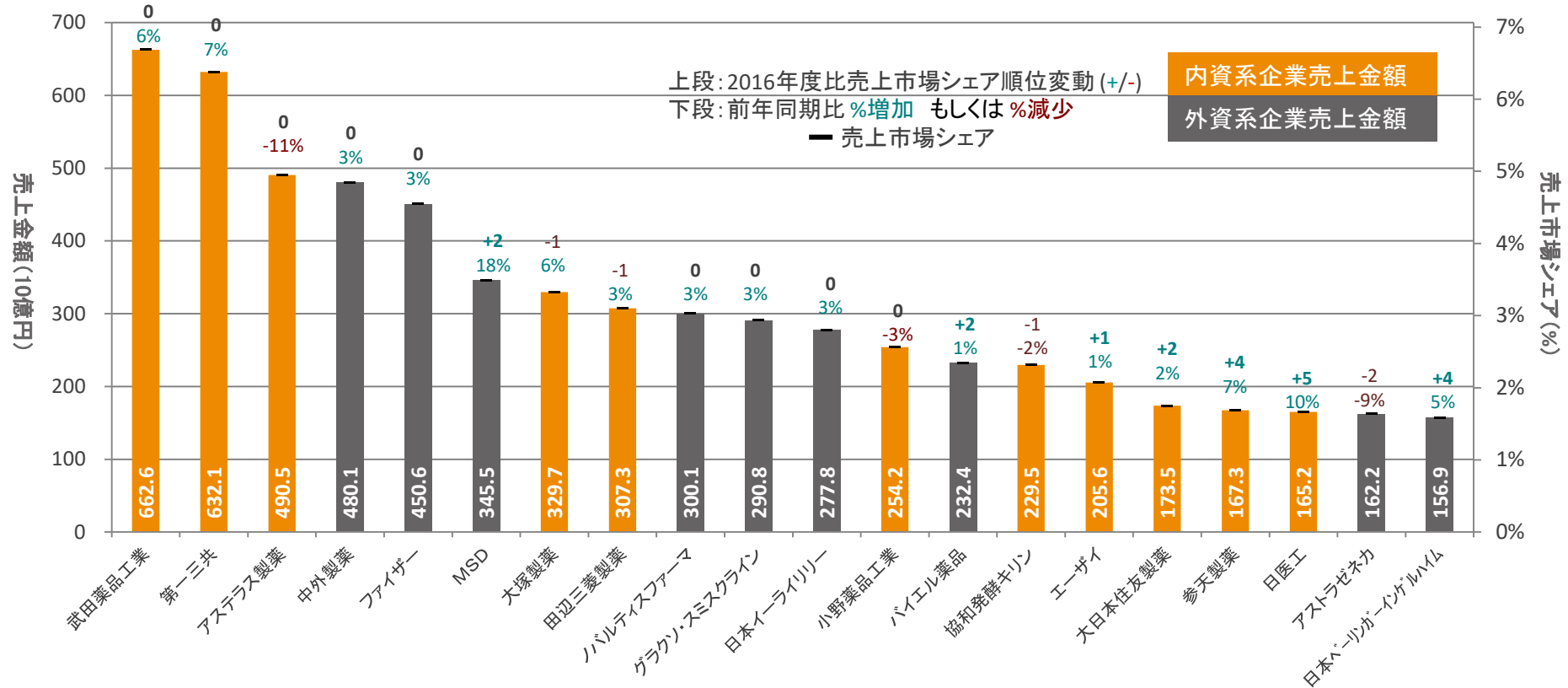
定義：バイオ医薬品 - 分子標的薬、生物由来製剤など | 低分子化合物 - 低分子医薬品

* 併売企業による合計売上金額

- 2017年度の上位20製品の年間売上金額は1兆4,261億円であり、売上金額比率では医療用医薬品市場の14.4%を占めていが、2016年度と比較すると1.8ポイント減少した。主にハーボニー（前年同期比72%減）とオブジーボ（前年同期比13.5%減）の売上減少の影響があったと考えられる。
- 主要成長医薬品**：タケキャブ（前年同期比67%増）、サインバルタ（前年同期比26%増）、アイリーアとエリキュース（両医薬品共に前年同期比14%増）、エディロール（前年同期比11%増）。
- 主要鈍化医薬品**：クレストール（前年同期比29%減、特許期間満了と後発品上市による影響）、オブジーボ（前年同期比14%減、緊急薬価改定による薬価引き下げおよび2017年2月上市の競合品キイトルーダの影響）、ジャヌビア（前年同期比5%減）。
- 2017年度に上位20製品入りした医薬品（前年同期比）**：タケキャブ（年間売上金額591億円）、エリキュース（同587億円）、サインバルタ（同557億円）、ヒルドイド（同545億円）、メモリー（同544億円）。
- 2017年度に上位20製品から外れた医薬品（前年同期比）**：ハーボニー（年間売上金額457億円）、ソバルディ（同345億円）、ミカルディス（同329億円）、オルメテック（同536億円）、セレコックス（同541億円）。

医療用医薬品市場年間売上 上位20社*

データ期間：2017年4月～2018年3月



* 販売承認企業による売上金額

- 2017年度の上位20社の年間売上金額合計は6兆3,139億円（前年同期比1.07%増）であり、医療用医薬品市場年間売上金額の63.7%を占めた（前年同期比0.05ポイント減）。
- 上位20社中、内資系企業と外資系企業の年間売上金額比率は約57:43（2016年度比率 約55:45）となり、内資系企業の年間売上金額は3兆6,175億円（前年同期比6.2%増）、外資系企業の年間売上金額は2兆6,964億円（前年同期比5.05%減）。
- 参天製薬（年間売上金額1,673億円、前年同期比7%増）、日医工（年間売上金額1,652億円、前年同期比10%増）、日本ベーリンガーインゲルハイム（年間売上金額1,569億円、前年同期比5%増）が初の上位20社入りを果たした。一方、ギリアド（年間売上金額809億円、前年同期比65%減）、塩野義製薬（年間売上金額1,368億円、前年同期比16%減）、ヤンセンファーマ（年間売上金額1,522億円、前年同期比6%減）となり、上位20社から外れた。